

第2期

日高市遠足の聖地プロジェクト推進計画



埼玉県 日高市

目次

はじめに	P 1
「遠足の聖地」宣言	P 2
1 計画の考え方	P 3
(1) 計画策定の位置付け	
(2) 計画期間	
2 本市への遠足の現状と課題	P 3
(1) 遠足ニーズ調査の実施	
(2) 調査結果から見る現状	
(3) 調査結果から見る課題	
(4) 遠足地として選定されるために今後重視していくべき点	
3 基本理念と目標	P 6
(1) 基本理念	
(2) 目標	
4 これまでの取組	P 7
(1) 遠足の聖地スタンプ台の設置	
(2) 施設整備	
(3) 遠足ガイドマップの作成	
(4) ひだか魅力発見動画の制作	
(5) 行幸啓記念碑の建立	
5 プロジェクト推進のための基本施策	P 8
基本施策1 PR『知ってもらおう！遠足の聖地日高』	
基本施策2 おもてなし『ようこそ！遠足の聖地日高』	
基本施策3 体験『来て見て触れて！遠足の聖地日高』	
基本施策4 来訪『大人の遠足も！遠足の聖地日高』	
6 長期的展望・施設等整備計画	P 13
(1) 長期的展望	
(2) 施設等整備計画	
7 計画の推進体制	P 13
8 計画の見直し	P 13
9 市民コメントの実施	P 14

はじめに

平成 29 年 4 月に、本市が持つ豊かな自然と歴史ある文化を、次の世代に継承し「住み続けたい、来てよかった、住んでみたいと思っただけのまち」を目指し、「遠足の聖地」を宣言しました。本市では遠足の聖地プロジェクトについての事業計画として、平成 29 年度から令和 2 年度までを計画期間とする「遠足の聖地プロジェクト推進計画」を策定しました。これまで市のシンボルであります巾着田の施設整備や遠足ガイドマップの作成、魅力を発信するための「大人の遠足」をテーマに動画の制作などを行ってきました。

また、平成 29 年 9 月 20 日に、当時の天皇皇后両陛下が巾着田を訪問されたことは記憶に新しいことであり、本市にとって重要な財産になっていることから、訪問されたことを記念して平成 30 年 9 月同所に「行幸啓記念碑」を建立しました。

今回、令和 3 年 4 月から第 6 次日高市総合計画が始まり、本市の総合戦略の基本目標 4 つが設定されました。①誰もが活躍し続けられる仕事をつくる、②魅力を活用したにぎわいと新たなひとの流れをつくる、③出会う、育てる、子どもの笑顔があふれるまちをつくる、④安心して住み続けられるまちをつくる、この基本目標を着実に実行することで、遠足の聖地宣言の本旨に近づきます。

令和 2 年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちのライフスタイルや観光産業は大きく変化しました。新しい生活様式に沿ったマイクロツーリズム観光客の誘致や、市の魅力を生かした体験型観光の推進、2050 年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す取組（ゼロカーボンシティ）や持続可能な開発目標（SDGs）への取組など、第 6 次総合計画と連動して、更に多くの皆さまに本市を訪れていただけるよう、この第 2 期遠足の聖地プロジェクト推進計画（以下「本計画」とします。）を推進し「遠足の聖地日高」を目指します。

「遠足の聖地」宣言

たくさんのお子どもたちが遠足で本市を訪れ、豊かな自然にふれることで、伸び伸びと成長し、豊かな知性や感性を身に付けることができるよう、日和田山や巾着田を含む高麗郷一帯を整備します。

住み続けたい、来てよかった、住んでみたいと思っただけのまちを目指し、ここに「遠足の聖地」を宣言します。

平成29年4月8日

日高市長 谷ヶ崎 照 雄

1 計画の考え方

(1) 計画策定の位置付け

本市では令和3年3月に、令和12年度までの10年間のまちづくり計画として、将来都市像『誰もが安心して住み続けられる ふれあい清流文化都市 日高』の実現を目指す「第6次日高市総合計画」を策定しました。

総合計画のリーディングプロジェクトでは、『魅力を活用したにぎわいと新たなひとの流れをつくる』を基本目標の一つに定め、遠足の聖地プロジェクトを『まちの魅力発信と観光の推進』の施策として設定しており、本計画は、遠足の聖地プロジェクトについての基本的な事業計画として策定するものです。

(2) 計画期間

令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とします。

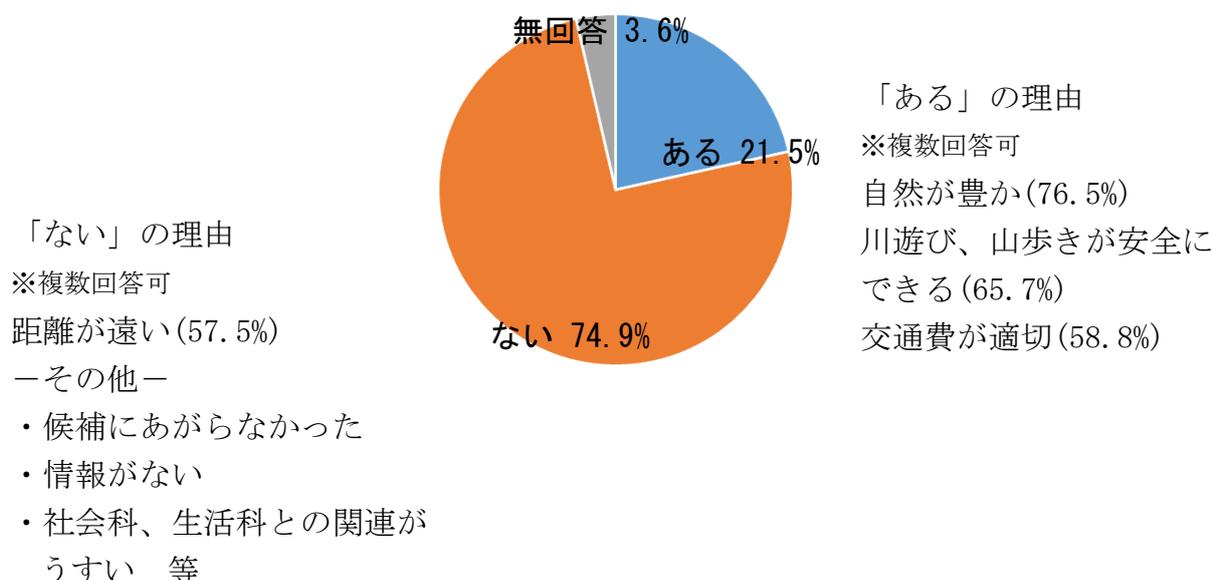
2 本市への遠足の現状と課題

(1) 遠足ニーズ調査の実施

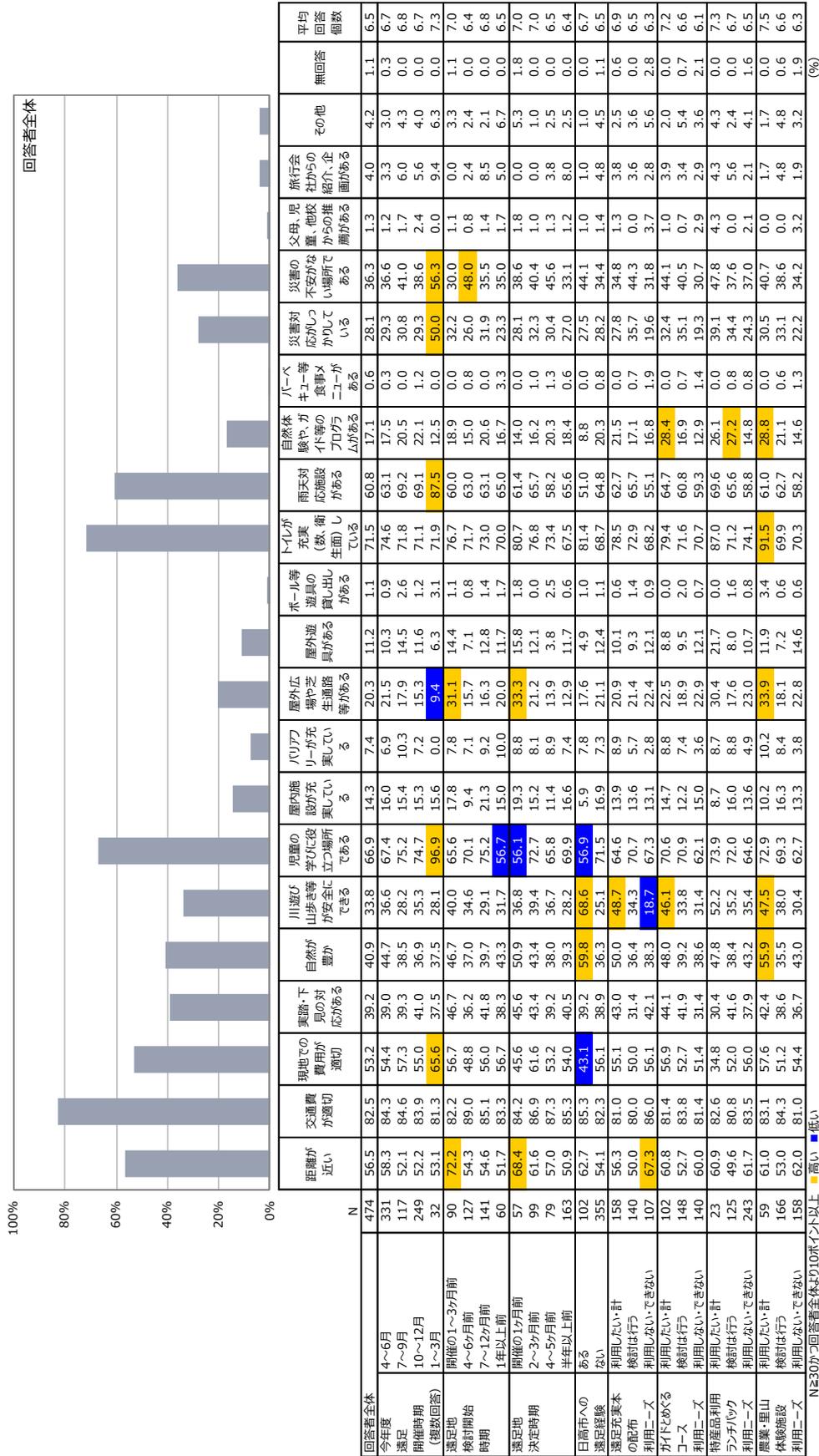
平成28年度に、国の「地方創生加速化交付金」を活用し、東京都・埼玉県下の小学校約2,100校を対象に「遠足ニーズ調査」を実施し、「日高市を遠足地とするために必要な要素」等について、約500校から回答をいただきました。

(2) 調査結果から見る現状

●本市への遠足経験の有無

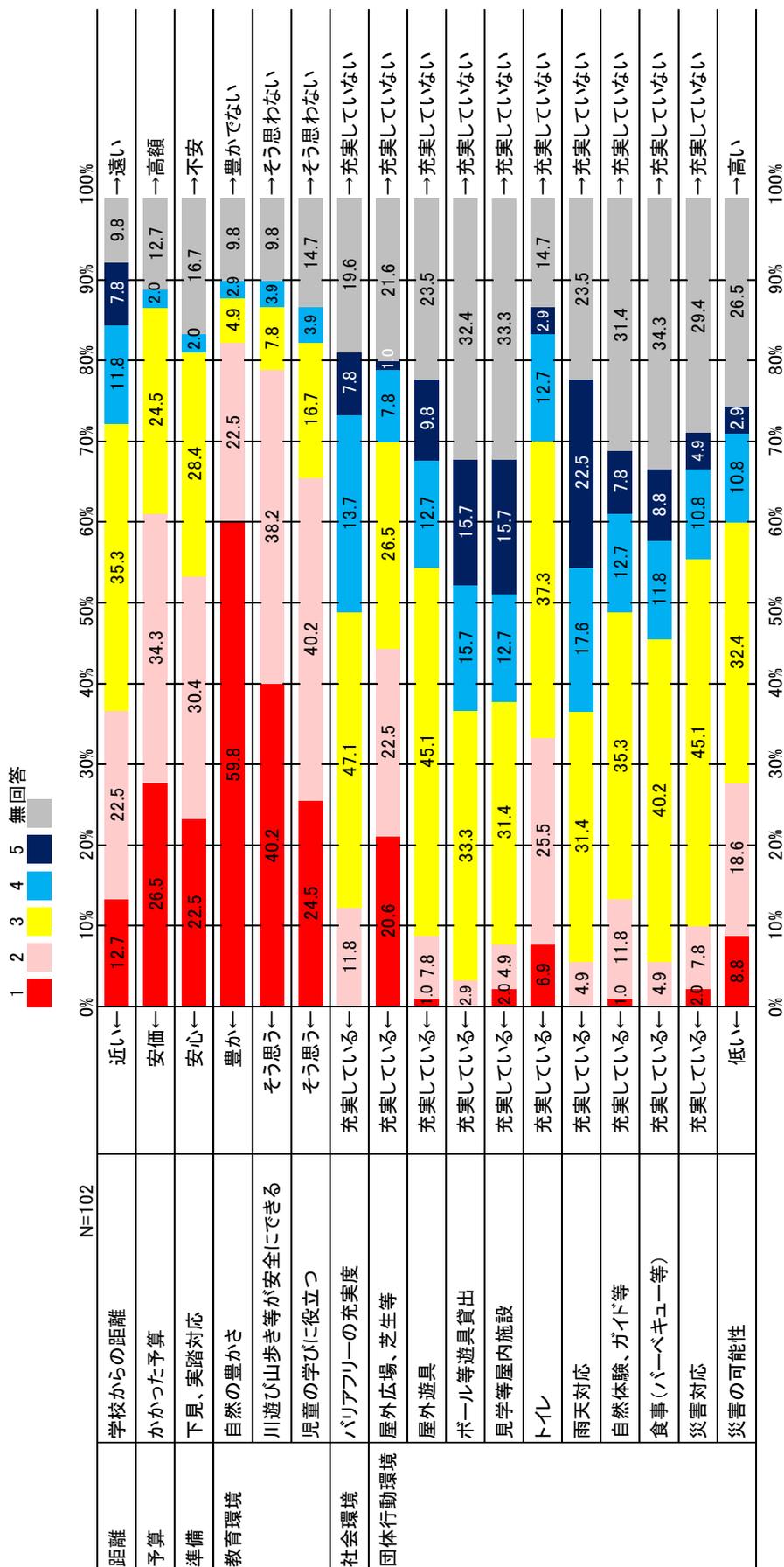


●遠足地に求める条件



N≧30かつ回答者全体が10ポイント以上 ■高い ■低い

●本市への遠足に関する感想（本市への遠足経験のある学校からの回答）



(3) 調査結果から見る課題

- 本市への遠足に関する感想（本市への遠足経験のある学校からの回答）の分析
 - ・学校から本市への距離は、物理的に「遠い」と判断している学校があります。
 - ・かかった予算や下見等の実踏は、比較的良い感想を持たれています。
 - ・「児童の学びに役立つ」に関し、遠足経験がある学校にはある程度評価されていると言えるため、情報がない等で遠足経験がない学校には、「児童の学びに役立つ」ことの積極的なPRや、学習に合わせたプログラムを用意すること等が重要です。
 - ・遠足経験がある学校からも、「屋外広場、芝生等」以外のハード部分の評価が高いとは言えない状況です。特に「雨天対応」「災害対応」、選択肢にはなかったが「昼食場所」や「屋外施設」「180人以上の大勢で来訪できる体制（バス駐車場、広場、屋外施設等）」「混雑の緩和」等の充実を求める意見が多くなっています。

(4) 遠足地として選定されるために今後重視していくべき点

- ① 経費が適切であること。
- ② 児童の学びに役立つ場所であること。
- ③ 屋外広場や芝生等、昼食のとれる場所があること。
- ④ トイレが充実していること。

3 基本理念と目標

(1) 基本理念

本市は、自然、歴史、文化等、多くの資源を有しています。
その恵まれた観光資源を活用しながら遠足地として整備・PRしていくことで、多くの人に「行ってみたい」「また行きたい」「住んでみたい」と思ってもらえる「遠足の聖地日高」の実現を目指します。

(2) 目標

巾着田遠足申込校及び人数の増加

現状値：令和元(2019)年度 131校・12千人

目標値：令和7(2025)年度 145校・15千人

入込観光客数の増加

現状値：令和元(2019)年 3,963千人

目標値：令和7(2025)年 4,069千人

4 これまでの取組

(1) 遠足の聖地スタンプ台の設置

- ・遠足や観光で市内を訪れるお客様の回遊性の向上を図るため、巾着田や高麗郷古民家等、市内 12 か所に遠足の聖地スタンプを設置しました。
- ・スタンプ帳を作製し、市役所や巾着田、高麗郷古民家等の各施設で配布しています。

(2) 施設整備

- ・巾着田の入口に、観光客が一目でここが「巾着田」とわかるように看板を設置しました。看板の両脇には、高麗郷古民家にあったシラカシを素材にした休憩用ベンチを設置しました。
- ・高麗本郷（駒高地内）に公衆トイレを設置しました。
- ・飯能寄居線バイパスの開通に伴い、案内看板を作製し、設置しました。



(3) 遠足ガイドマップの作成

巾着田、日和田山を中心とした地図、日和田山の拡大図、お勧めスポットを一枚にまとめました。誰でも使用できるよう要所に振り仮名を振り、スポット間の距離や時間の目安を載せています。

(4) ひだか魅力発見動画の制作

「大人の遠足」をテーマに、本市初のシティプロモーション動画を制作し、HPでの公開や市内イベント等で上映しています。本作は、平成 31 年 3 月に世界中の優れた観光映像を上映・表彰する日本国際観光映像祭において、「旅ムービー部門」の最優秀賞を受賞しました。



〔大人になっても遠足したい！～行こう！遠足の聖地へ！～〕

(5) 行幸啓記念碑の建立

平成 29 年 9 月 20 日に当時の天皇皇后両陛下が巾着田を訪問されたことを記念して、平成 30 年 9 月同所に行幸啓記念碑を建立しました。



5 プロジェクト推進のための基本施策

基本施策 1 PR『知ってもらおう！遠足の聖地日高』

遠足ニーズ調査では、「日高市をよくわかっていない」「日高市の施設等で学習内容とあっているものがあるか資料としてもっていない」等、本市のことを知らないという回答が寄せられました。また、今後の「日高市への遠足」に対する意見の中では、PRが重要であることを示す内容が多く寄せられました。

そこで本市をPRし、知ってもらうことで、遠足地として本市を訪れてもらう学校を増やします。

視点 1 関東平野と秩父山地が始まるまちPR

学校の授業でも取り上げられる関東平野と秩父山地が接する場所の一つが「日高市」です。

本市が学校の学習と関連性のある場所であることも踏まえ、本市の魅力をPRしていきます。

具体的な事業

- ・遠足ガイドマップの配布
- ・シティプロモーション動画の活用
- ・Instagram や YouTube 等の SNS を用いた PR
- ・関東平野（都心）を一望できる場所として、日和田山や白銀平等を PR



視点2 公共交通機関各社との連携

遠足の移動手段として必要不可欠な公共交通機関である鉄道会社や路線バス会社と連携することで、PR体制の強化を図ります。

具体的な事業

- ・市内各駅構内への観光パンフレット、遠足ガイドマップ等の配置

視点3 近隣自治体との連携

近隣自治体との連携の強化を図ります。

具体的な事業

- ・隣接した飯能市との連携
※飯能市・日高市賑わい創出連携事業協議会の協力を得る。
- ・高麗川遊歩道でつながった坂戸市との連携
- ・埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）との連携



基本施策2 おもてなし『ようこそ！遠足の聖地日高』

遠足ニーズ調査では、「トイレが充実」していることが、遠足地に求める条件の第2位になっています。

受入れ施設のみならず、自然環境等の維持管理を行うことで、本市にお越しただく皆様をお迎えする環境をさらに充実させます。

視点1 ハイキング道等の整備・研究

日和田山、物見山等のハイキング道の整備、公衆トイレの整備の検討、悪天候時の対応について研究します。

具体的な事業

- ・子どもたちに魅力が伝わる道標や案内板の整備
- ・悪天候時の対応についての研究（高麗郷古民家や近隣施設への誘導等）



視点2 観光ボランティアガイドの育成・活用

観光地を案内する観光ボランティアガイドを育成します。

具体的な事業

- ・観光ボランティアガイド育成講座の開催

視点3 原風景の維持

巾着田、日和田山や高麗川の自然や高麗郷古民家等の歴史的建造物を含む、原風景を維持、活用、保全する等、受入れ環境を整備します。

具体的な事業

- ・巾着田の原風景の維持
- ・清流高麗川の保全活用
- ・高麗郷古民家の維持活用
- ・日和田山等の景観の維持



基本施策3 体験『来て見て触れて！遠足の聖地日高』

遠足ニーズ調査では、「児童の学びに役立つ場所である」ことが、遠足地に求める条件の第3位になっています。

また、昭和43年10月2日文部省初等中等教育局長通達「小学校、中学校、高等学校等の遠足・修学旅行について」の中に、遠足を「学校内では得がたい学習を行う機会として有効に活用する」とあります。

本市が有する特色を明確にすることで、遠足内容の充実を図ります。

視点1 歴史と文化の継承

西暦716年（奈良時代）、大和朝廷は律令制の下、関東一円の七国（駿河、甲斐、相模、上総、下総、常陸、下野）に住んでいた高麗人を集め、現在の本市と飯能市を中心とした武蔵国に、高麗郡を設置しました。この地域は、平成28(2016)年には高麗郡建郡から1300年を迎えた歴史のある土地です。

その歴史と培われた文化を継承することで、学習の一助とします。

具体的な事業

- ・渡来文化の伝承
- ・文化財の整備とPR

高麗石器時代住居跡の史跡整備を行うとともに、高麗郷民俗資料館に展示・保存されている資料等の文化財をPR

視点2 企業との連携

日高市商工会や関係機関との連携を推進

具体的な事業

- ・市内及び近隣にある、施設見学可能な企業、工場等の調査

視点3 特産品のPR

栗、ブルーベリー、狭山茶、うどん等、本市有数の特産物をPRします。

具体的な事業

- ・各農業団体との連携

視点4 コンテンツの開発

前述の連携事業やPR等をまとめ、年齢別遠足推奨コースや小学生用教材を開発します。

具体的な事業

- ・小学生用教材の研究、開発
- ・環境教育・環境学習の推進
(曼珠沙華の生態紹介等)
- ・「日高かわせみの里ツーデーウオーク」等の事業で活用できる推奨コースの研究、開発
- ・エコツーリズム等の体験型観光の推進
- ・近隣市町等と連携したマイクロツーリズム(短距離観光)の推進



基本施策4 来訪『大人の遠足も！遠足の聖地日高』

子どもだけでなく、大人も遠足を楽しむ時代。大人や家族のハイキングやキャンプ地としても安心安全に利用できるよう、また、老若男女様々な人に本市をお楽しみいただけるよう、整備を進めます。

視点1 バーベキュー・デイキャンプ地のPR

市内に数多くあるバーベキューやデイキャンプができる場所(河川敷等)の情報や、利用時のマナーについてPRします。

具体的な事業

- ・観光パンフレットによるPR
- ・河原での直火の禁止や美化活動等、清流高麗川を維持する活動を展開

視点2 土産品のPR

本市の農産物や特産品、特徴を生かした土産品創出のサポートをします。

具体的な事業

- ・ 特産品の創出
- ・ ふるさと納税を活用した特産品のPR



視点3 観光資源・魅力の発掘と既存観光資源の調査、活用

市内全域を対象とし、建造物、寺社、自然、景観等の調査を実施し、新たな観光資源の発掘及び既存の資源を見直し、活用します。

具体的な事業

- ・ JR高麗川駅から西武鉄道高麗駅間の観光ルートの調査及び確立
- ・ 歴史的建造物や寺社を結ぶ観光ルートの調査及び確立
- ・ 遠足後に「家族と一緒に来なくなる」観光資源の調査及び確立



視点4 行幸啓コースの確立・PR

平成29年9月20日、当時の天皇皇后両陛下が私のご旅行で本市を訪問されました。訪問されたスポットを『行幸啓コース』とし、観光ルートを確立し、PRします。

具体的な事業

- ・ 両陛下が訪問された巾着田、高麗神社間の観光ルートの調査、確立



視点5 東京オリンピック・パラリンピックに関連した誘客

東京オリンピックの聖火リレーが市内を通過するほか、ゴルフ競技会場が隣接の川越市にある等、本市にも身近なイベントです。このイベントを契機とし、訪日客の本市への誘客を図ります。

具体的な事業

- ・ 多言語看板の整備
- ・ 多言語観光パンフレットの設置・PR
- ・ 公衆無線LANアクセスポイントの研究

6 長期的展望・施設等整備計画

(1) 長期的展望

- ・地元市民のおもてなし（人材育成）
遠足内容の相談や当日の案内等に対応できるような人材を育成する。
一般社団法人巾着田管理事務所を窓口とした受入れ態勢を確立する。
- ・連携強化
鉄道、路線バスの公共交通機関各社、市内商工業事業者、農業団体との連携による、遠足の受入れ態勢の強化を図る。

(2) 施設等整備計画（令和3年～令和7年）

- 高指山の整備
- 白銀平の美化及び整備
- 天神橋公衆トイレの改修
- 高麗郷古民家裏山の活用
- 高麗川遊歩道の活用
- 公衆トイレ整備の検討
- 森林環境譲与税等の活用

7 計画の推進体制

各施策の推進主体は、産・学・官・市民等の団体が考えられ、各施策はいずれか一つの団体だけが主体となるとは限らず、むしろ複数が関わって実施していくことが重要です。

各施策の推進に当たり、必要に応じて関係団体と協議します。

なお、ふるさと納税の用途の一つに“遠足の聖地プロジェクトを応援しよう”を掲げていることから、寄附金の一部をプロジェクト推進費用に充当します。

8 計画の見直し

本計画は、第6次日高市総合計画 リーディングプロジェクト(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)に準じ、第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略、広域連携の観点では近隣市町の取組を考慮しつつ、随時、必要な見直しを行うこととします。

9 市民コメントの実施

本計画について、令和3年3月1日から3月30日まで市民コメントを実施し、広くご意見を募りました。

いただいたご意見及び市の考え方については、以下のとおりです。

(1) 計画全体に対するご意見

No.	ご意見	市の考え方
1	第2期計画（以下「本計画」という。）背表紙の発行年は、令和3年5月となっています。今回の計画については令和3年度から7年度までを計画期間としています。これでは計画はスタートしているのに発行は遅れたかたちとなります。計画のスタートが令和3年6月であれば、繰越ししたのかとも思いますが、第1期計画（現在計画）の終わりは平成32年度で、計画に空白が生じます。第1期計画も同様のかたちとなっています。大変違和感を感じます。年度を区切りとして仕事を進め3月中に完成させるのが通常だと思います。産業振興課の令和2年度の本計画の策定工程は、年度当初から令和2～3年度に策定するという予定だったのででしょうか。	ご意見のとおり、空白が生じないよう策定します。
2	P8以降、基本施策が書かれています。計画書の構成とすると、視点以下に数行書かれているものが施策で、具体的な施策に書いてある観光パンフレットによるPR、多言語看板の整備など、これらはみな事業です。「具体的な施策」という表記を「具体的な事業」と直した方がよろしいかと思えます。事業を一つ一つ実施することで、施策が達成されていきます。	ご意見のとおり、修正します。

3	<p>公用文表記基準に準じる記載</p> <p>①公用文の表記は「常用漢字表」に原則拘束されることとなっています。常用漢字を使うところが平仮名になっていたり、この逆も散見されました。</p> <p>②送り仮名も言葉により難しい言葉もありますが、再度見直ししてください。</p> <p>③同じ言葉の表記が不一致になっているものが、散見されました。よく、見直ししてください。</p>	<p>ご意見のとおり、修正します。</p>
4	<p>敬語表現</p> <p>皇族に関係した文章は敬語を用いてよいと思いますが、公用文は丁寧語を除いて、敬語は用いないようです。</p>	<p>ご意見のとおり、修正します。</p>
5	<p>第6次総合計画と本計画が令和3年度から同時にスタートすることは絶好のタイミングだと思います。本計画についてはリーディングプロジェクト、前期基本計画と重複していません。高い目標が設定されています。目標の達成、計画の推進に当たっては政策秘書課、産業推進課が事務局だからということにならないよう、職員一丸で取り組んでいく体制をぜひ構築してください。どうすれば達成できるかを考え、そして市民、各種団体、企業に働き掛けて日高市のまちづくりが進展することを期待します。</p>	<p>ご意見のとおり、取組体制を検討し、より良いまちづくりに努めます。</p>
6	<p>施策・策定過程においてその案趣旨等を公表し市民からの意見を考慮して意思決定を行うとともに提出された意見の概要及び意見に対する市の考えを公表とありますが??</p> <p>日高市立地適正化計画（12・13・14）に於いては参考とさせていただきます</p>	<p>本計画を推進するため、市としての方向性がわかりやすく伝わるよう努めます。</p>

	<p>きますでは具体的な市の考えが伝わらず</p> <p>日高市空き家対策では住まいの終活についてご指摘の通りと具体性が外部評価の災害対策ラウンドアバウトに対して飯能警察署ではなく土木事務所に確認では？</p> <p>子育て支援 7年度までに3学区で小中一貫教育、、空いた教室・建物その他の施設の利用等方向性が見えず市の考えがうかがえない</p> <p>浄化センター 昭和・平成の頃の美味しい水に、、県水56%を減らし地下水を昭和の頃にと配慮をお願いしたのですがちんぷんかんぷん</p> <p>高齢者福祉対策計画（1）福祉事務所に相談をと、、とご相談くださいでは市の取り組み長寿化に対する考えが伝わらず市での他の街に対して独自の対策・政策が見込めず</p> <p>考え方が受け身そのもの、市民の言っぱなしになり具体的な市の考えの公表が見えてません何のための市民コメントなのか??</p>	
7	<p>提言「遠足の聖地は学びの場」</p> <p>巾着田、遠足の聖地は良き計画と思います。</p> <p>そこで提言</p> <p>小学生の遠足で日和田山に登った時、鳥居の中に見える巾着田。確かその時は一面にレンゲが植わっており先生から「レンゲは緑肥となり</p> <p>稲作を豊かにする、昔肥料の無い時の知恵だ」と教わってのを今でも覚えている。遠足の思い出は昔の人が知恵を絞り巾着田を大切に使った事を学んだ事。</p>	<p>ご意見のとおり、学びの場として活用できるよう検討します。</p>

<p>温故知新、歴史を学ぶ事は大事な事である。</p> <p>1300年を誇る高麗の歴史、そして巾着田はその中枢にあった。</p> <p>宮澤賢治曰く「一日に玄米4合と味噌と少しの野菜を食べ・・・」</p> <p>ついこの間まで日本人はこの様な自給自足の生活をし</p> <p>狭い土地を田に変え稲作を行った、そして田圃の畔を利用して大豆を作り</p> <p>それから味噌、醤油を作った。</p> <p>巾着田には小川も流れ水車もある。</p> <p>当に日本の原風景、日本の縮図。</p> <p>それを再現すべく小さな田を作り、あぜ道に大豆を植え裏作にレンゲを植える。</p> <p>遠足でその風景を実感できれば日本人が如何にモノを大切にしてきたかを学ぶ事が出来るのでは。</p> <p>そしてそれが「遠足の聖地は学びの場」につながるのではないかと思います。</p>	
--	--

(2) 内容別のご意見

No.	ページ	ご意見	市の考え方
1	6	基本理念は第1期計画を継続しています。本計画の理念を読んだだけではどのように設定され、いつ設定されたか不明です。前段に設定された経緯と継続する理由を書いていただきたいと思います。	1 ページ目の「はじめに」で経緯や継続する理由等述べています。
2	6	○巾着田遠足申込校及び人数については目標値を下回っている。 ○入込観光客数については後期基本計画との比較では増加している。	第1期計画では、令和2年度時点の巾着田遠足申込校と人数の目標値を200校・20,000人と設定していましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きを見通すことが困難であることから、平成29年度

		<p>この結果について評価・検証を書いていたきたいと思いません。</p> <p>第6次日高市総合計画前期基本計画にも観光客数の目標が設定されていますが、前期基本計画の表記は「観光入込客数 現状値3,963千人」とされており、こちらと整合をとっていたきたいと思いません。</p>	<p>の実績145校・15000人まで回復することを目標値とし、設定しています。</p> <p>本計画では、後期基本計画と比較しての評価・検証は、掲載しません。</p> <p>標記については、整合を図り修正します。</p>
3	6.7. 9.13	<p>トイレの表記がトイレ、公衆トイレ、観光トイレがありますが統一してはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、修正します。</p>
4	7.8	<p>P7から第1期計画の成果が書かれていますが、施設整備、動画制作、記念碑の設置などについては、具体的に何年度に設置、受賞年度を具体的に書いたらどうでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、修正します。</p>
5	7.8	<p>できたこと P7以降に書かれた成果について、コメントがありません。特に動画制作という具体的な言葉では、第1期計画には予定されていなかったようです。動画を制作しました。名誉な賞を受賞しました。各方面に受賞のことを広報しました。これだけの一過性のことだけではなく、この動画を市内・市外にPR・活用してどのような効果がもたらされたのか、費用対効果(B/C)などを評価して書いていたきたいと思いません。</p>	<p>ご意見のとおり、修正します。</p> <p>今後のシティプロモーション動画の活用については、基本施策1-視点1の具体的な事業の中に追加します。</p>

6	8. 9. 10. 11. 12. 13	<p>できなかったこと</p> <p>本計画のこれからの施策に盛り込まれたものは、第1期計画でできなくて継続されたものが多くあります。例えばですが、観光ルートの調査及び確立、オリンピック・パラリンピック関連などです。ソフト事業が多く見られるようで、それほど予算も掛からずできるのではと思います。オリンピック・パラリンピック関連も1年延期されたにもかかわらず、また、これを契機としてと書いていながら、着手できなかったのでしょうか。なぜ先送りになってしまったのか、予算、用地の調整に時間を要したなどの理由でしょうか。しっかり評価して書いていただきたいと思います。</p>	<p>今後も継続して実施することから、本計画にも掲載しています。</p>
7	8. 9. 10. 11. 12. 13	<p>P8から基本施策の展開が1～4まで書かれていますが、観光事業はこれだけネット社会が発達した現在、これをどのように活用してPRしていくかが重要だと思います。基本施策1に入る前に前段で、どの施策にもこのことが関係してくるので、ネット・広報の活用、関係機関との連携など総論的なことを書いたらいかがでしょうか。</p>	<p>基本施策の順番は、①SNSを活用したPRで本市を知ってもらう→②市内の受入れ施設の整備や自然環境等の維持管理→③④実際に訪れた方に満足してもらう、という本市の認知から本市への遠足までの過程と捉えており、基本施策1から4は、それぞれ相互に関連するものとして考えています。</p>
8	8	<p>巾着田だけでなく、周辺の景観を一体として考えたい。日和田山麓の太陽光パネル工事の問題は現在どうなっていますか。広報してください。面としての開発規制が必要ですが、景観条例との関連も教えてください。ま</p>	<p>ご意見のとおり、自然保全の方法について検討します。</p>

		た、民有地買い上げによる自然保全も必要と思われます。	
9	8	市内各所を曼珠沙華の花で彩っていったら素敵な故郷を伝えることができそうです。市民を巻き込んだ植栽活動を進められるとよいと思います	ご意見について、今後検討します。
10	8	子供百名山指定を全国的につくすることを提案して、日和田山を推薦します。男岩の岩場など、高齢者にも面白い山と思いました。岩場の途中で無理かなと思っていたら、あとから子供達が順番に登ってゆきました。私は無理と思い戻って降りるのも大変と言っていましたら、元気な子供の声で「この岩をまわるようにして道がありますから」と足を踏みならして親切に大声で心配してくれ、山登りの精神が育って良いと思いました。	ご意見のとおり、多くの方に登ってもらえるよう今後も情報を発信します。
11	9	歴史の上で朝鮮半島とのつながりを伝えるだけでなく、現在の半島との交流がもっとあってこそ、日高市の特色、遺産を未来に活かすことになるのではないかと考えます。	ご意見のとおり、今後検討します。
12	9	自然環境を原風景に変更できないでしょうか？ 「受け入れ施設のみならず、原風景を維持しながら管理を行うことで・・・」	ここでは、自然環境の整備等の意味も含んでいるためこのままの標記とします。
13	9	近年リモートワーク促進等で飯能市では移住促進の事業が的を得ているとの情報がある。日高市においても観光と併せて移住促進につながるプロジェクトと	ご意見のとおり、更なる移住促進に向け、様々な視点から事業を推進します。

		すべきと考える。それにより市税の歳入増へつなげてもらいたい。	
14	10	高麗郷民俗資料館の整備、拡充によって、日高市の魅力をもっと積極的に伝えられたらよいと思います。	高麗郷民俗資料館については老朽化が進んでいるため施設を廃止する予定です。なお、観光資源の有効活用の視点からも高麗郷古民家への機能移転を検討します。
15	10	<p>原風景の維持</p> <p>巾着田からの風景に日和田山があります。日高のシンボル山でもあること、巾着田の原風景はレンゲ畑・水田かと思われま</p> <p>す。</p> <p>よって次のような変更ができないでしょうか？</p> <p>「巾着田、高麗川の・・・」を「日和田山、巾着田や高麗川自然・・・」</p> <p>具体的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巾着田の原風景の維持（レンゲ畑等） ・清流高麗川の・・・ ・日和田山等の景観の維持 	ご意見のとおり、修正します。
16	11	<p>近年のアウトドア人気もあり、巾着田には年間を通してバーベキュー客、観光客が多数来ている。残念ながらそのマナーは悪い状況である。例えば、栗等の果実を無断採取されたり、敷地内への不法侵入は毎年増加傾向にある。</p> <p>観光客を呼ぶ施策を実施するのであれば、マナーを徹底させるべきである。</p> <p>地域住民との共存あってこそその観光事業であり、当該事業により地域住民が何の恩恵も受けずに、我慢のみを強いられること</p>	ご意見のとおり、観光客へのマナーの啓発等を強化します。

		あつてはならないと考える。是非とも地域住民の身になり、理解がされる事業展開をしていただきたい。	
17	11.13	近隣市町村と周辺市町村の違いは？ 村は東秩父村、檜原村を意味していますか？	ご意見のとおり、修正します。



日高市マスコットキャラクター
くりっかー・くりっびー

第2期日高市遠足の聖地プロジェクト推進計画

発行年 令和3年4月

発行 埼玉県日高市

編集 市民生活部 産業振興課

〒350-1292

埼玉県日高市大字南平沢1020番地

電話番号：042-989-2111（代表）